

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

03-291928

(43)Date of publication of application: 24.12.1991

(51)Int.CI.

H01L 21/302 C23F 4/00

(21)Application number: 02-092215

(71)Applicant: HITACHI LTD

(22)Date of filing:

09.04.1990 (72)Inventor: I

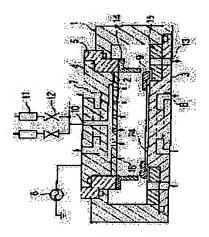
(72)Inventor: ISHIZU HIDEHIKO

SHINOHARA MASAAKI

(54) DRY ETCHING DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To increase selection ratio, simplify dry etching process, exclude chamber contamination, and obtain an equipment of simple structure, by installing guartz members composed of quartz in the vicinity between an upper electrode and a lower electrode. CONSTITUTION: In a dry etching system performing dry etching of a film formed on a silicon oxide film, quartz members 9, 14, 15 composed of guartz are installed in the vicinity between an upper electrode 2 and a lower electrode 3. For example, a clamp 9 for pressing a semiconductor wafer 24, a shield 15 fixed to an insulator 5, and a ring 15 arranged on the lower electrode 3 are made of quartz. Thereby, when the silicon oxide film is exposed, the quartz members are etched together with the silicon oxide film, so that selection ratio is increased and the thickness of the silicon oxide film is not reduced. Further, since it is not necessary to introduce deposition gas except etching gas, dry etching process is simplified, a chamber is not contaminated, and the equipment structure is simplified.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑩日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

®公開特許公報(A) 平3-291928

®Int. Cl. ⁵

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成3年(1991)12月24日

H 01 L 21/302 C 23 F 4/00 C 8122-4M A 7179-4K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

❷発明の名称

ドライエツチング装置

②特 願 平2-92215

②出 頤 平2(1990)4月9日

70発明者 石津

英 彦 千葉

千葉県茂原市早野3300番地 株式会社日立製作所茂原工場

内

伊発明者 篠原

正 明

千葉県茂原市早野3300番地 株式会社日立製作所茂原工場

内

勿出 顋 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

四代理人 弁理士 小川 勝男 外1名

剪 細

1. 晃明の名称

ドライエッチング装置

2. 特許請求の範囲

- 1. シリコン酸化膜上に形成された膜をエッチングするドライエッチング装置において、上部電極と下部電極との間の近傍に石英からなる石英部材を飲けたことを特徴とするドライエッチング装置。
- 3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

この発明はシリコン酸化膜上に形成された膜を エッチングするドライエッチング装置に関するも のである。

【従来の技術】

ドライエッチング装置によりシリコン酸化膜(SiO.)上に形成されたシリコンナイトライド膜(Si.N.)をエッチングする場合には、シリコンナイトライド膜のエッチング速度のシリコン酸化膜のエッチング速度に対する比すなわちシ

リコンナイトライド膜のシリコン酸化度に対する 選択比が小さいから、シリコンナイトライド膜を オーパエッチングしたときに、シリコン酸化膜の 膜厚が小さくなってしまう。

そこで、従来のドライエッチング装置(特関昭63-102232号公報、プラズマエッチング:選択性と非ダメージ性(J. Dieleman, F. H M. Sanders, June, 1984, Solid State Technology/日本版))においては、エッチングガスの他に堆積性のガスを導入して、選択比を大きくしている。

【発明が解抉しようとする課題】

しかし、このようなドライエッチング装置においては、ドライエッチング工程が複雑になり、また地積性のガスによってチャンパが汚れやすく、さらに堆積性のガスの導入装置を設ける必要があるから、装置の構造が複雑になる。

この発明は上述の課題を解決するためになされたもので、選択比が大きく、しかもドライエッチング工程が簡単であり、チャンパが汚れることがなく、装置の構造が簡単であるドライエッチング

特開平3-291928(2)

裝置を提供することを目的とする。

[課題を解決するための手段]

この目的を達成するため、この発明においては、 シリコン酸化膜上に形成された膜をエッチングす るドライエッチング装置において、上部電極と下 部電極との間の近傍に石英からなる石英部材を設 ける。

(作用)

このドライエッチング装置においては、シリコン酸化膜が露出したときに、石英部材とシリコン酸化膜とは同じ材料であるから、シリコン酸化膜とともに石英部材がエッチングされる。

(実施例)

第1図はこの発明に係るドライエッチング装置の一部を示す断面図、第2図は同じく全体を示す 概略断面図である。図において、1はアルミニウムからなるチャンパ、5はチャンパ1に取り付けられた絶縁性のインシュレータ、4はインシュレータ5に取り付けられた準電性の上部電極サポート、2は上部電極サポート4に取り付けられたカ ソード世権としての上部電腦、6は上部電極サポ ート4を介して上部電極2に接続された高周波電 甑、 3 はチャンパ1 に取り付けられたアノード電 極としての下部電極で、下部電極3は上部電極2 に対向して設けられており、下部電極3は接地状 態に保持されている。13は下部電極3に設けら れた排気口、7は上部電極サポート4に設けられ た温潤用通路、8は下部電極3に設けられた温調 用通路、10は上部電極サポート4に設けられた ガス供給通路、19はガス供給通路10に接続さ れたガスポンペ、11はガスポンペ19とガス供 給通路10との間に設けられたマスフローコント ローラ、12はマスフローコントローラ11とガ ス供給通路10との間に設けられたガスパルプ、 16は上部電腦2に設けられたガス導入口で、ガ ス準入口16はガス供給通路10と返通している。 20はチャンパ1に取り付けられた真空予備室、 2 1 はチャンパ1、真空予備室20に接続された 真空排気システム、22はローダ、23はアンロ ーダ、14はインシュレータ5に取り付けられた

シールドで、シールド14は石英からなる。24 は下部電極3上に載置された半導体ウェハ、9は 半導体ウェハ24を押さえるためのクランプで、 クランプ9は石英からなる。15は下部電極3上 に設けられたリングで、リング15は石英からなる。

はSiF、、CO、CO」となって排気される。 ここの場合、シールド14、クランプ9、リング 15とシリコン酸化膜とは同じ材料であるから、 シリコン酸化膜とともにシールド14、クランプ 8、リング15がエッチングされるので、シリコ ン酸化膜のエッチング速度が小さくなるため、シ リコンナイトライド膜のシリコン酸化膜に対する 選択比が大きくなる。発明者等の実験によれば、 シールド14、クランプ9、リング15を使用し ない場合と比較して選択比が約 2.5倍であった。 したがって、シリコン酸化膜の膜厚が小さくなる ことはない。しかも、エッチングガスの他に堆積 性のガスを導入する必要がないから、ドライエッ チング工程が簡単になり、またチャンパ1が汚れ ることがなく、さらに堆積性のガスの導入装置を 設ける必要がないから、装筐の構造が簡単になる。 また、シールド14を設けているので、エッチン グ速度を均一にかつ大きくすることができる。

第3回はこの発明に係る他のドライエッチング 装置の一部を示す断面図である。図において、

特別平3-291928 (3)

17は上部電極2に取り付けられた拡散板で、拡散板17は石英からなる。18は拡散板17に設けられた拡散口で、拡散口18はガス導入口16と速通している。

このドライエッチング装置においては、シリコン酸化膜が露出したときに、シリコン酸化膜とともにシールド14、拡散板17がエッチングされるから、シリコン酸化膜のエッチング速度が小さくなるので、シリコンナイトライド膜のシリコン酸化膜に対する選択比が大きくなるため、シリコン酸化膜の餌厚が小さくなることはない。

第4団はこの発明に係る他のドライエッチング 装置の一部を示す断面団である。図において、 25はシールド14に取り付けられた拡散板で、 拡散板25は石类からなる。26は拡散板25に 設けられた拡散口である。

このドライエッチング装置においては、シリコン酸化膜が露出したときに、シリコン酸化膜とともにシールド14、鉱散板25がエッチングされるから、シリコン酸化膜のエッチング速度が小さ

くなるので、シリコンナイトライド膜のシリコン 酸化膜に対する遺択比が大きくなるため、シリコ ン酸化膜の膜厚が小さくなることはない。

なお、上述実施例においては、石英部材として シールド14、クランプ9、リング15、拡散板 17、25を用いたが、他の石英部材を用いても よい。

[発明の効果]

以上説明したように、この発明に係るドライエッチング装置においては、シリコン酸化膜が繋ががしたときに、シリコン酸化膜とともに石英部材がエッチングされるから、選択比が大きくない。シリコン酸化膜の膜厚が小さくならことはない。シャンがガスの他に堆積性のガスを導がする必要がないから、ドライエッチング工程が簡単に、チャンパが汚れることがなく、装置の構造が簡単に、チャンパが汚れることがなく、装置の構造が簡単になる。このように、この発明の効果は数等である。

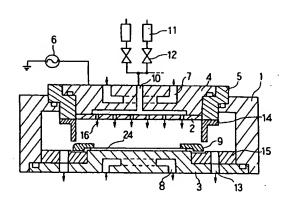
4. 図面の簡単な説明

第1回はこの発明に係るドライエッチング装置

の一部を示す断面図、第2図は同じく全体を示す 概略断面図、第3回、第4図はそれぞれこの発明 に係る他のドライエッチング装置の一部を示す断 面図である。

- 2 …上部電優
- 3 … 下部電極
- 9 … クランプ
- 14…シールド
- 15…リング
- 17…拡散板
- 2 5 … 拡散板

第 1 図



代理人 弁理士 小川 勝

2…上部電板 3…下部電板 9…クランプ 14…シールド 15…リング

特開平3-291928 (4)

